

# 台風19号に関するアンケート集計結果

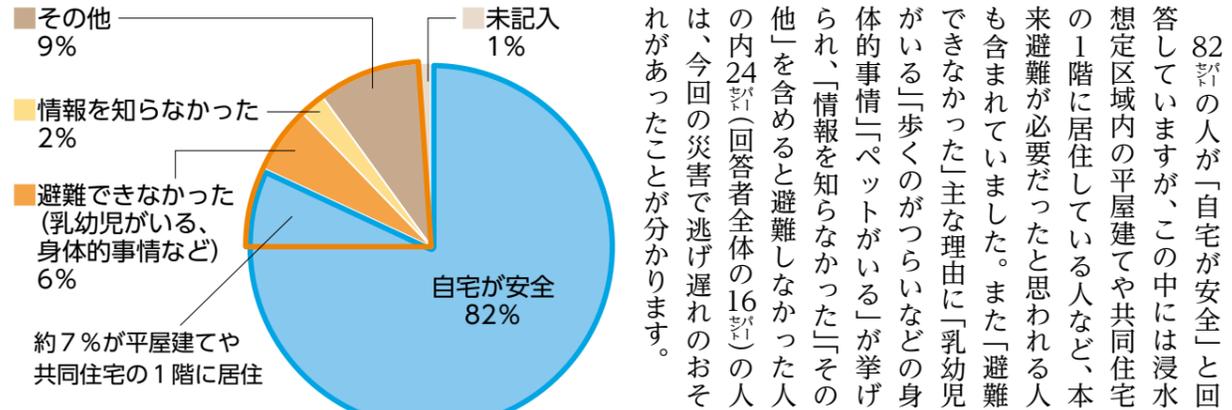
台風19号接近時の相模川

昨年10月に発生した台風19号では、全国各地で河川が氾濫し多くの尊い命が失われました。市は、城山ダムの緊急放流に伴い相模川流域の約5万4000人にに対し警戒レベル4「避難指示(緊急)」を発令、市内の避難所には過去最大となる約5000人の方が避難しました。今後の避難・防災対策の検討を目的に行った「台風19号に関する市民アンケート」の集計結果の一部をお知らせします。

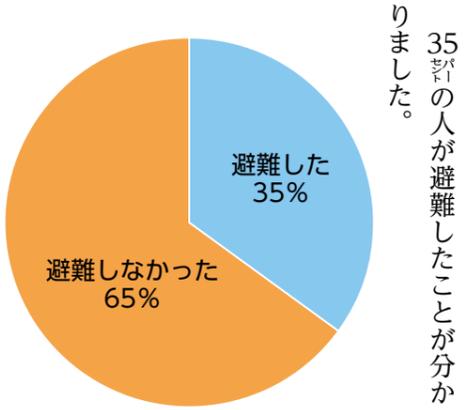
問危機管理課 ☎(2)3(5)4790

**アンケート概要**  
**【実施期間】** 令和元年11月22日～12月23日  
**【対象】** 相模川の浸水想定区域内在住の無作為に抽出した2,000人  
**【調査方法】** 郵送方式  
**【回答数】** 1,011人(回答率50.55%)

**質問 (避難しなかった方へ)**  
**避難しなかった理由は?**



**質問 避難しましたか?**



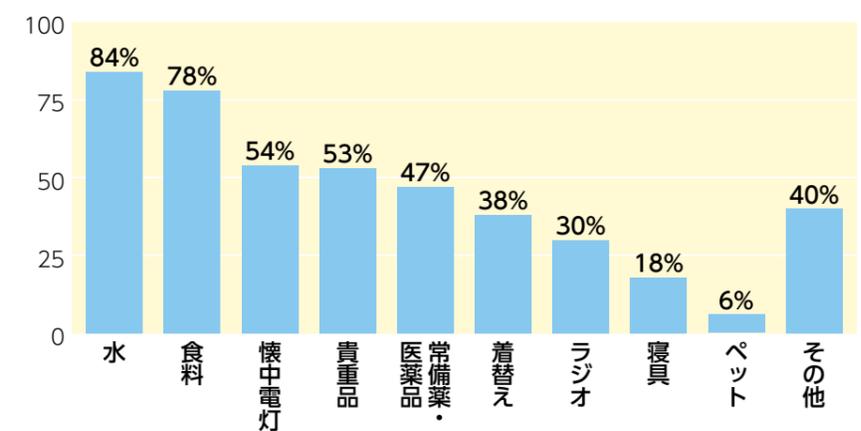
35%の方が避難したことが分かりました。



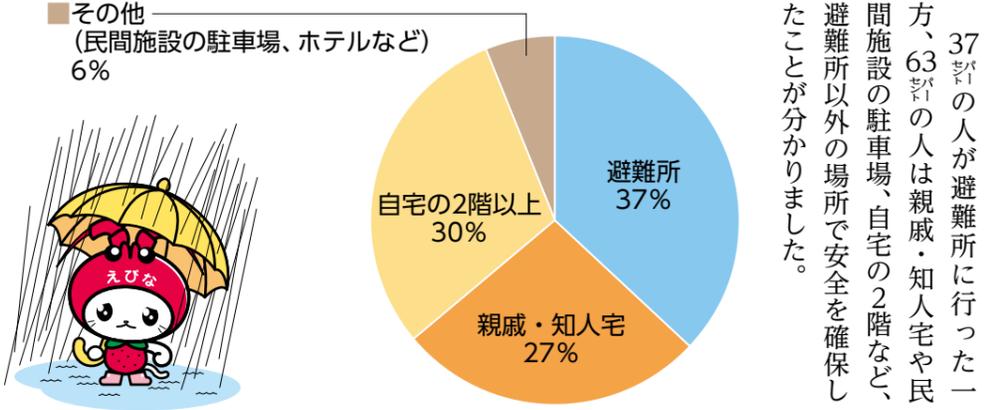
避難所の様子

**質問 避難の際に持参した(連れていった)ものは何ですか?(複数回答可)**

約80%の人が水と食料を持参していました。意見として「トイレ使用時にスリッパが必要だった」「何を持参すればよいか分からなかった」などの回答もありました。



**質問 (避難した方へ)**  
**どこに避難しましたか?**



37%の方が避難所に行った一方、63%の方は親戚・知人宅や民間施設の駐車場、自宅の2階などで避難所以外の場所で安全を確保したことが分かりました。

## マイタイムラインってなに?

国などが推奨する風水害の犠牲者ゼロを目標にした取り組みです。「どこにいつ避難するか」「ペットの預け先をどうするか」など、災害時にとるべき行動を家族構成や生活環境に合わせて時系列で整理する自分自身の行動計画です。

風水害発生時は行動時間が制約されるため、先を見越した早め早めの避難行動が重要です。いざという時に逃げ遅れないよう、マイタイムラインを作成しておきましょう。

**作成のポイント**

「避難先=避難所」という固定観念にとらわれず、それぞれの事情に合った安全な場所や家族間での決まり事などをよく話し合って作成しましょう。

## 防災ガイドブック 3月上旬に全戸配布

「海老名市防災ガイドブック」を全戸配布します。ハザードマップや日頃から準備しておくべき備品など、災害に関する情報が満載。マイタイムラインを作成できるページも掲載しています。ぜひ活用してください。

「台風19号に関するアンケート集計結果」は市ホームページで閲覧できます。

**災害対策本部訓練を実施**

2月8日(土)に市役所の駐車場で、危機対処型地震車と大型エアータントを使用した災害対策本部訓練を行いました(表紙写真)。都心南部直下地震の被災により市庁舎などが使用できないことを想定し、市職員や消防職員、関係機関など116人が本部の設営手順や情報連携要領などを確認しました。

**全ての市民が適切な避難行動をとるために**

今回のアンケートでは避難をした人が35%いた一方で、「乳幼児」「身体的事情」「ペット」情報を知らなかったなどを理由に、避難をためらい逃げ遅れのおそれがあった人もいました。全ての方が適切な避難行動がとれるよう、市は今後に向け、「マイタイムラインの作成促進(3頁)」、「風水害の要素を加えた避難所運営訓練の実施とマニュアルの改訂」「防災知識の普及啓発」などを課題として各種防災対策を実施します。

**ペットの課題、検討へ**

ペットを連れて避難したいという要望や、ペットがいることによる避難へのためらいなどの声が寄せられたことから、今後は避難所でのペットに関する課題の研究・検討を進めます。